

秋本国土交通大臣政務官及び国土交通省関係者が参加する主なプログラム

■秋本国土交通大臣政務官が参加するプログラム

1) 閣僚級会議（円卓会議）

- ・ 6つのテーマ別（気候、人々、開発、都市、エコシステム、ファイナンス）に並行して議論する円卓会議の結果は、全体会議において閣僚宣言として取りまとめられる予定。
- ・ 気候変動等に伴う新たなリスクへの対応として、ハード対策とソフト対策を一体的に推進することにより「最低限必要な水を確保する」ことを新たな水供給の目標に加えた日本の水資源政策等について発信。

2) 「水と災害」ハイレベルパネル

（主催：水と災害に関する有識者・指導者会議（HELP））

- ・ 仙台防災枠組等の防災に関する国際合意を、元首級・閣僚級を含む参加者が政治主導で実現し、具体的な行動につなげることを目的に開催。
- ・ 世界的な水災害リスクの削減に向け、国際分野で必要な資金の確保と防災投資の増大、それに資する科学技術の発展について議論。
- ・ 皇太子殿下が御講演をされる予定。

3) 日本パビリオン

- ・ 国土交通省は、「持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた具体的な取り組みと貢献」をテーマとした日本パビリオンを主催。展示や映像放映、プレゼンテーション、イベント開催を通じて水に関連する日本の技術と経験を発信・共有。官民より17の企業・団体が参加。
- ・ 皇太子殿下御視察の予定であり、秋本政務官が健全な水循環の維持又は回復のための取組について説明。

4) 日中韓水担当大臣会合

- ・ 日・中・韓三カ国間の協力強化、及び気候変動適応策等に関する技術、情報、経験の共有促進を目的として、世界水フォーラムに併せて開催（概ね3年に1回）。
- ・ 今回は、「Implementing Water-related SDGs and Sharing Applicable Experience」をテーマに開催し、各国の取組を確認し合い、三カ国の連携を深めていくことを共同宣言としてとりまとめ予定（幹事国：日本）。日本からは、健全な水循環の維持又は回復に向けた取組やリスク管理型の水資源政策への転換の取組を紹介する予定。

■国土交通省関係者が参加する主なプログラム

1) テーマ別セッション

①「全ての利害関係者が参加する包括的な政策の実施」

出席者：沖大幹・国連大学上級副学長（共同研究者）

②「水分野における意思決定プロセスにおける参加者のプラットフォーム」

出席者：国土交通省担当者

以上